

円高・エネルギー制約対策のための
先端設備等投資促進事業について
(平成24年度補正予算事業)

経済産業省
地域経済産業グループ
企業立地支援室

平成25年3月

①安倍内閣総理大臣就任記者会見（平成24年12月26日）

強い経済は、日本の国力の源であります。強い経済の再生なくして財政再建も日本の将来ありません。長引くデフレによって、額に汗して働く人たちの手取りが減っています。歴史的な円高によって、国内で歯を食いしばって頑張っている輸出企業もだんだん空洞化しています。強い経済を取り戻す、これはまさに喫緊の課題であります。

②「日本経済再生に向けた緊急経済対策」について（平成25年1月11日 閣議決定）

第3章 具体的施策

Ⅱ. 成長による富の創出

1. 民間投資の喚起による成長力強化

民間投資の喚起のため、企業の設備投資や研究開発・イノベーション創出への取組等を促進するとともに、国際競争力強化等に資するインフラ整備、資源・海洋開発等により成長力を支える基盤整備に取り組む。

（1）成長力強化、省エネ・再エネ促進等のための設備投資等の促進

円高や厳しいエネルギー制約に対応しつつ、最新設備の導入等により産業競争力の強化を図るとともに、低炭素社会の創出等に資する省エネ・再エネ投資等を金融面・税制面も含め促進する。

(参考) 根こそぎ空洞化のおそれ

【従来の海外移転】

- ①現地市場向け加工組立工場の進出(低い賃金の活用)
- ②他方で、装置産業・技術のブラックボックス重視の素材型産業は国内生産中心



【現在起きている海外移転】

個別の企業では対応不能な為替の
急激な変動リスク

エネルギー制約 等

①日本市場向け加工組立工場の移転

(例: 小型自動車生産のタイへの移転)

②素材型産業の移転

(例: 多結晶シリコン(太陽電池や半導体の素材)生産や鉄鋼下工程のアジア進出)

③部品の海外調達シフト

(例: 自動車工場での輸入部品使用比率上昇)



状況が多少改善しても、容易に国内に戻ってこないおそれ。

(参考) 先端設備投資の過小による競争力低下と賃金デフレ

設備投資の抑制



設備年齢の上昇

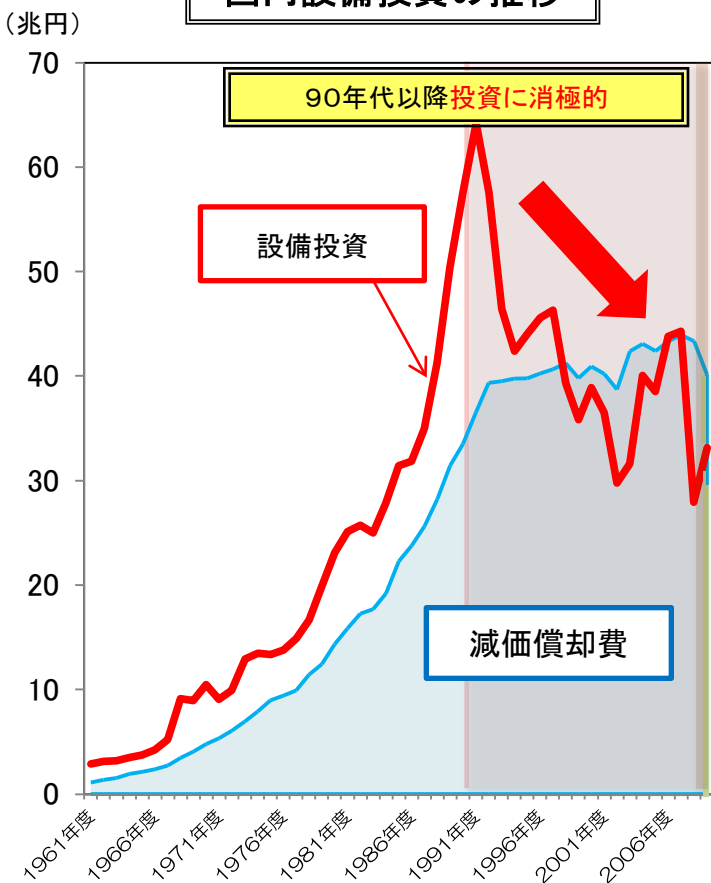


生産性の伸び悩み



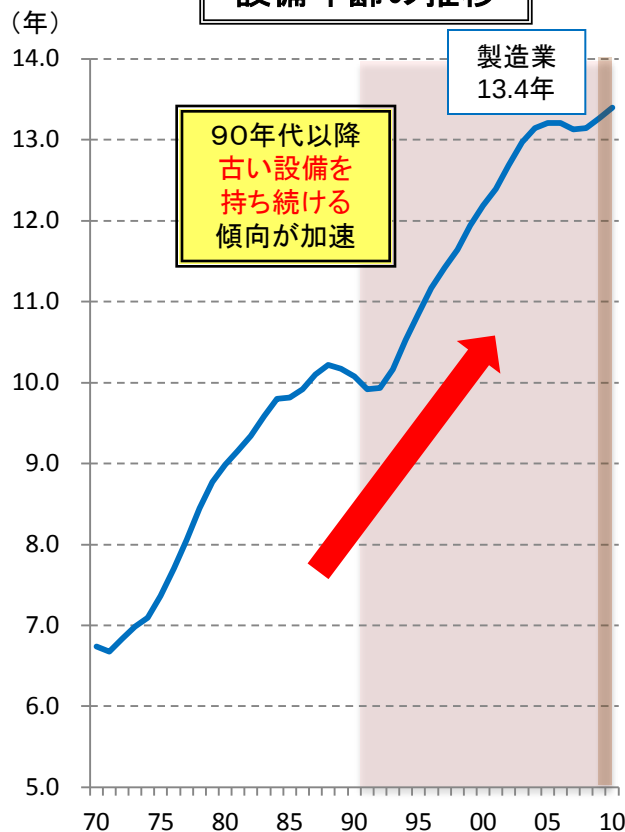
一人あたり給与の低下

国内設備投資の推移



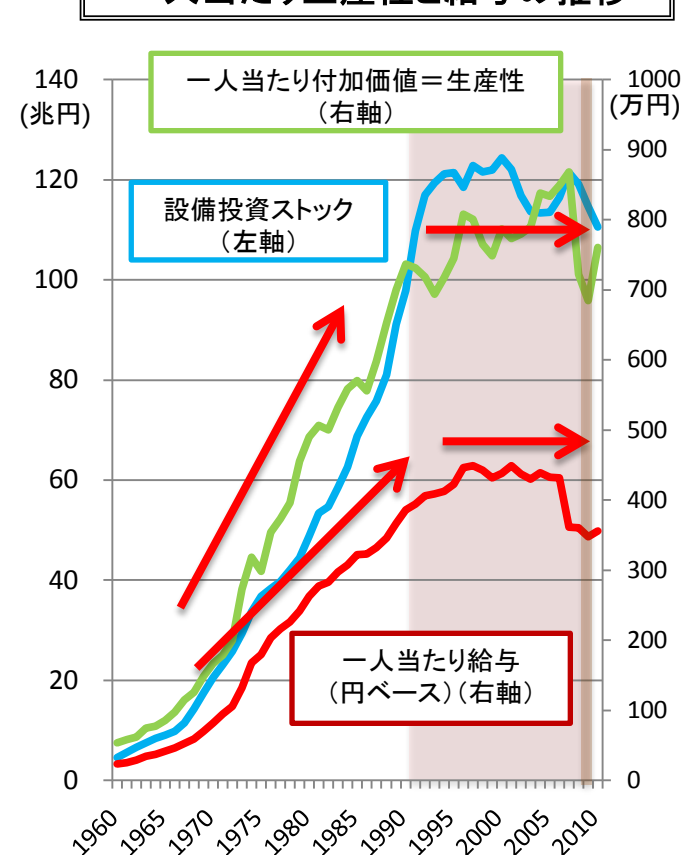
(出所) 財務省「法人企業統計」より経済産業省が作成

設備年齢の推移



(出所) 内閣府「民間企業資本ストック」、「国富調査」より経済産業省が作成

一人あたり生産性と給与の推移



(出所) 財務省「法人企業統計」より経済産業省が作成

【本事業の目的】

円高・エネルギー制約の高まりの中で、産業競争力強化・空洞化防止に資する最新設備・生産技術等の先端生産設備等の導入を促進すること。

【本補助金の概要】

予算額：2000億円

対象者：民間企業

補助率：原則：1／3以内

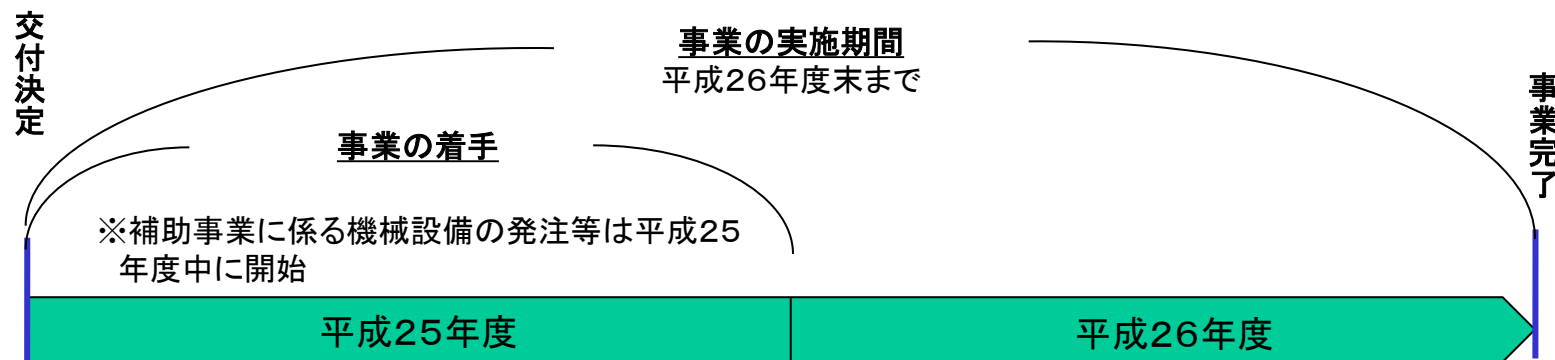
中小企業：1／2以内

補助上限：120億円

補助対象：後述

（注1）「日本経済再生に向けた緊急経済対策」（1月11日閣議決定）前に、着工・竣工スケジュールなど具体的投資計画を発表した案件は除く。

（注2）交付決定後、補助事業について、速やかに事業に着手（遅くとも平成25年度中）し、平成26年度末までに事業を完了する。



補助対象要件 A (①から③の全てを満たすこと)

A. 大幅に資源生産性(注)の改善が見込まれる事業計画を実現するための先端生産設備を導入する事業。

$$\text{(注)資源生産性} = \frac{\text{付加価値額(営業利益 + 人件費 + 減価償却費)}}{\text{エネルギー使用量(額)(or 原材料使用額)}}$$

①資源生産性の改善

資源生産性改善事業計画(※1)において、国内における先端生産設備等の導入により、補助対象事業完了後2年間のうちに基準年度(※2)比で資源生産性の10%以上の改善が見込まれていること。

- ※1 資源生産性改善事業計画 : 大幅に資源生産性の改善が見込まれる事業計画
 ※2 基準年度 : 経済対策閣議決定日(本年1月11日)の直近で終了した事業年度

②機械装置の先端性

補助対象となる先端生産設備たり得る生産機械装置の性能(仕様・スペック)が、先端的であること。

※先端的な生産機械装置とは、生産工程に専用の機械装置であって、特注品若しくは、製造機器メーカーの最新カタログに掲載されているもの。

③思い切った投資であること

補助事業に要する経費が、通常投資に回すことができる現預金残高を超える投資額であること。(ただし、中小企業は除く。)

$$\text{現預金残高} = (\text{BS上の現預金} - \text{短期借入金}) - (\text{月あたりの平均売上高}) \times 2.4$$

(参考) 補助対象事業Aの体系

基準年度

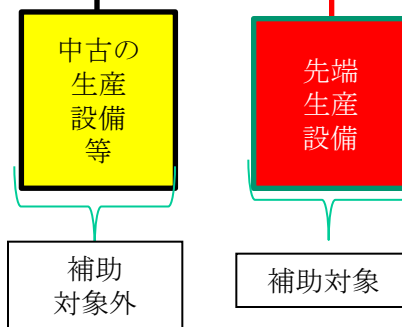
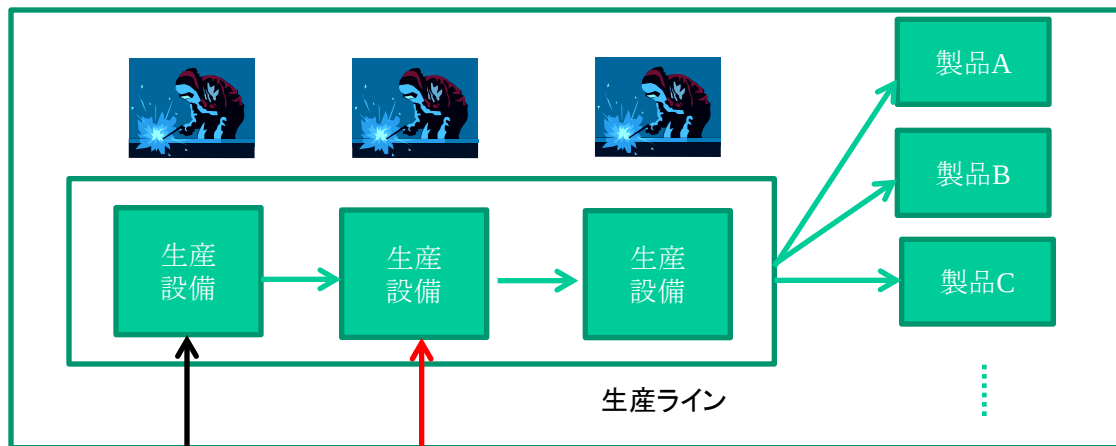
経済対策閣議決定日(本年1月11日)の直近で終了した事業年度 (H23FY or H24FY)。

補助対象事業

資源生産性改善事業計画を実現するための先端生産設備を導入する事業。

②補助対象となる先端生産設備たり得る生産機械装置の性能(仕様・スペック)が、先端的であること。

③補助事業に要する経費が、通常投資に回すことができる現預金残高を超える投資額であること。

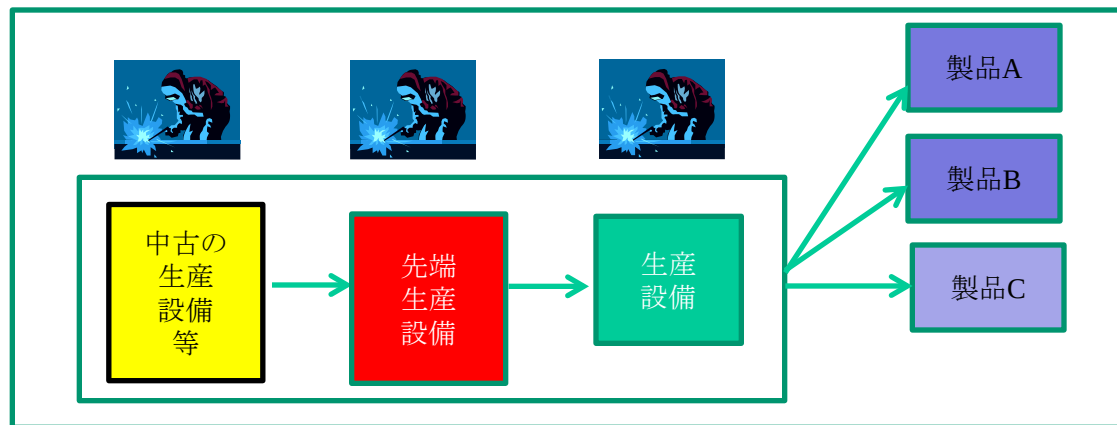


審査委員会では、資源生産性改善事業計画を評価

資源生産性改善事業計画

(補助事業完了後2年間の計画)

①基準年度比で資源生産性の10%以上の改善が見込まれていること。



財務の健全性や補助事業の実施体制といった基本的事項に加えて、以下の観点から審査を実施。

ア. 資源生産性の改善(特に重視する項目)

- ・資源生産性改善事業計画の実現性が高いか。
- ・資源生産性の改善の程度が大きいかな。 等

イ. 海外流出の蓋然性(特に重視する項目)

- ・本補助金によって、海外に立地していた拠点を国内に戻す決定をした、若しくは、海外への設備投資を決定していたが、計画変更する決定がなされたか。
- ・海外政府、海外企業や海外に進出している日系企業から工場立地等の移転誘致を受けているか。
- ・社内で海外立地・投資の検討を行うためのコスト計算・比較を行ったことがあるか。 等

ウ. 技術の革新性(加点項目)

- ・先端生産設備に用いられている技術が革新的か。
- ・資源生産性改善事業計画に用いられる技術が革新的か。 等

エ. 成長性(加点項目)

- ・資源生産性改善事業計画で生産する製品、部素材等の自社の売上高や関連製品の市場規模が、直近2年間の実績で成長しているか。
- ・資源生産性改善事業計画で生産する製品、部素材等の市場の成長が見込まれるか。 等

オ. 投資誘発効果等(加点項目)

- ・資源生産性改善事業計画における投資誘発効果が、補助金交付申請額に比して大きいかな。
- ・資源生産性改善事業計画における地域経済への効果・影響(産業集積)が、補助金交付申請額に比して大きいかな。
- ・資源生産性改善事業計画における雇用創出効果が、補助金交付申請額に比して大きいかな。 等

補助対象要件B（①から③の全てを満たすこと）

B コア部品・素材の生産拡大が見込まれる事業計画を実現するための先端生産設備を導入する事業

①コア部品・素材（※1）の重要性

コア部品・素材生産拡大事業計画（※2）において、国内における先端生産設備等の導入により、補助対象事業完了後2年間のうちに基準年度（※3）比で、コア部品・素材の生産拡大が見込まれていること。

※1 コア部品・素材とは、以下(i)、(ii)の双方を満たすもの

(i) 市場シェアがトップ3であるなど、相当程度高い部品・素材

(ii) 顧客や有識者から当該部品・素材が最終製品の高付加価値化に大きく貢献し、生産拠点が海外に移転してしまふと我が国の競争力低下を招くおそれがあるため国内立地の支援を求める旨の推薦があるもの

※2 コア部品・素材生産拡大事業計画：コア部品・素材の生産拡大（用途転換も含む）を主に目指す事業計画

※3 基準年度：経済対策閣議決定日（本年1月11日）の直近で終了した事業年度

②機械装置の先端性

補助対象となる先端生産設備たり得る生産機械装置の性能（仕様・スペック）が、先端的であること。

※先端的な生産機械装置とは、生産工程に専用の機械装置であって、特注品若しくは、製造機器メーカーの最新カタログに掲載されているもの。

③思い切った投資であること

補助事業に要する経費が、通常投資に回すことができる現預金残高を超える投資額であること。ただし、中小企業は除く。

$$\text{現預金残高} = (\text{BS上の現預金} - \text{短期借入金}) - (\text{月あたりの平均売上高}) \times 2.4$$

(参考) 補助対象事業B

基準年度

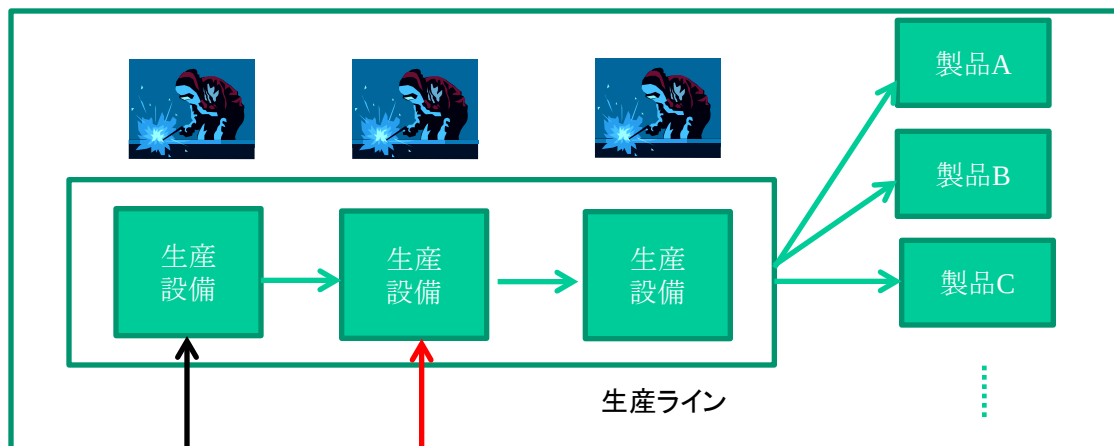
経済対策閣議決定日(本年1月11日)の直近で終了した事業年度 (H23FY or H24FY)。

補助対象事業

コア部品・素材生産拡大事業計画を実現するための先端生産設備を導入する事業。

②補助対象となる先端生産設備たり得る生産機械装置の性能(仕様・スペック)が、先端的であること。

③補助事業に要する経費が、通常投資に回すことができる現預金残高を超える投資額であること。



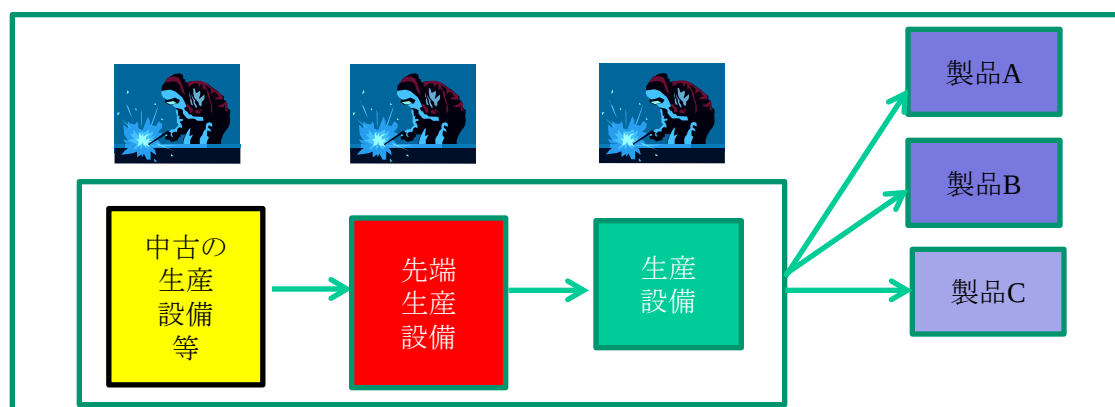
注)原則として、製造する製品A、製品B、製品C全てがコア部品・素材でなければならない。

審査委員会では、コア部品・素材生産拡大事業計画を評価

コア部品・素材生産拡大事業計画

(補助事業完了後2年間の計画)

①コア部品・素材の生産拡大が見込まれる事業計画



財務の健全性や補助事業の実施体制といった基本的事項に加えて、以下の観点から審査を実施。

ア. コア部品・素材の重要性(特に重視する項目)

- ・コア部品・素材の市場シェアやシェア順位
- ・当該コア部品・素材や使用される製品の市場規模が大きいかな。 等

イ. 海外流出の蓋然性(特に重視する項目)

- ・本補助金によって、海外に立地していた拠点を国内に戻す決定をした、若しくは、海外への設備投資を決定していたが、計画変更する決定がなされたか。
- ・海外政府、海外企業や海外に進出している日系企業から工場立地等の移転誘致を受けているか。
- ・社内で海外立地・投資の検討を行うためのコスト計算・比較を行ったことがあるか。 等

ウ. 技術の革新性(加点項目)

- ・先端生産設備に用いられている技術が革新的か。
- ・コア部品・素材生産拡大事業計画に用いられる技術が革新的か。 等

エ. 成長性(加点項目)

- ・コア部品・素材生産拡大事業計画で生産する製品、部素材等の自社の売上高や関連製品の市場規模が、直近2年間の実績で成長しているか。
- ・コア部品・素材生産拡大事業計画で生産する製品、部素材等の市場シェアの拡大が見込まれるか。
- ・コア部品・素材生産拡大事業計画で生産する製品、部素材等の市場の成長が見込まれるか。 等

オ. 投資誘発効果等(加点項目)

- ・コア部品・素材生産拡大事業計画における投資誘発効果が、補助金交付申請額に比して大きいかな。
- ・コア部品・素材生産拡大事業計画における地域経済への効果・影響(産業集積)が、補助金交付申請額に比して大きいかな。
- ・コア部品・素材生産拡大事業計画における雇用創出効果が、補助金交付申請額に比して大きいかな。 等

事業	補助率
補助対象事業 A	資源生産性の改善の程度 補助率 ①30%以上 : 1／3以内（中小企業:1／2 以内） ②20%以上 : 1／4以内（中小企業:1／3 以内） ③10%以上 : 1／5以内（中小企業:1／4 以内）
補助対象事業 B	「市場での希少性」、「市場インパクト」、「海外流出の蓋然性」 以上の3項目の点数を基に、1／3以内～1／5以内（中小企業:1／2以内～1／4以内）で補助率を決定。

※補助対象経費の対象として登録した先端生産機械装置が一つでも導入されていない場合には、補助金は全額支払われません。

※補助対象事業Aは、申請の際に希望補助率（①から③のうちの一つ）を記載します。なお、審査の際に、希望補助率を受けるために必要な資源生産性の改善が期待できないと評価された場合は、採択されません。

※補助率については、申請の際に希望した補助率を下回る可能性もあります。

8. 補助対象経費について(補助対象事業A、補助対象事業B共通)

○補助対象事業A若しくは補助対象事業Bにより実施される計画に位置づけられる、先端生産機械装置、及び先端生産機械装置に専用かつ一体不可分な設備のうち以下の経費を補助対象経費とする。

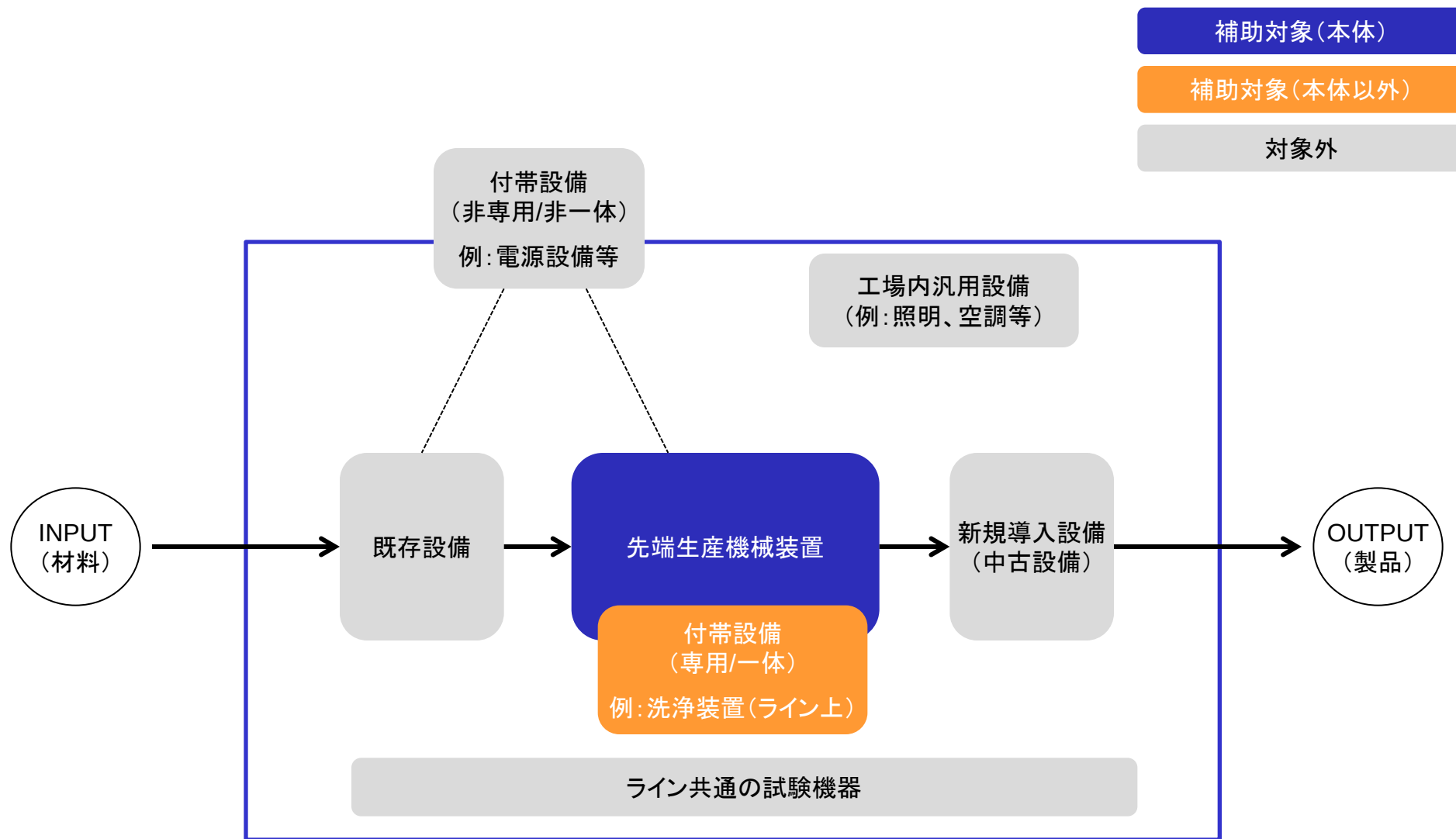
○なお、先端生産機械装置とは、生産工程に専用の機械装置であって、特注品若しくは、製造機器メーカーの最新カタログに掲載されているものをいう。

補助対象経費の区分	内 容	上限額 下限額
設備費等	補助事業者の生産施設で使用する設備機械装置の購入及び据付け等に必要経費	上限額 120億円
調査設計費	上記設備機械装置の据付け等に必要経費及び設計費	下限額 なし

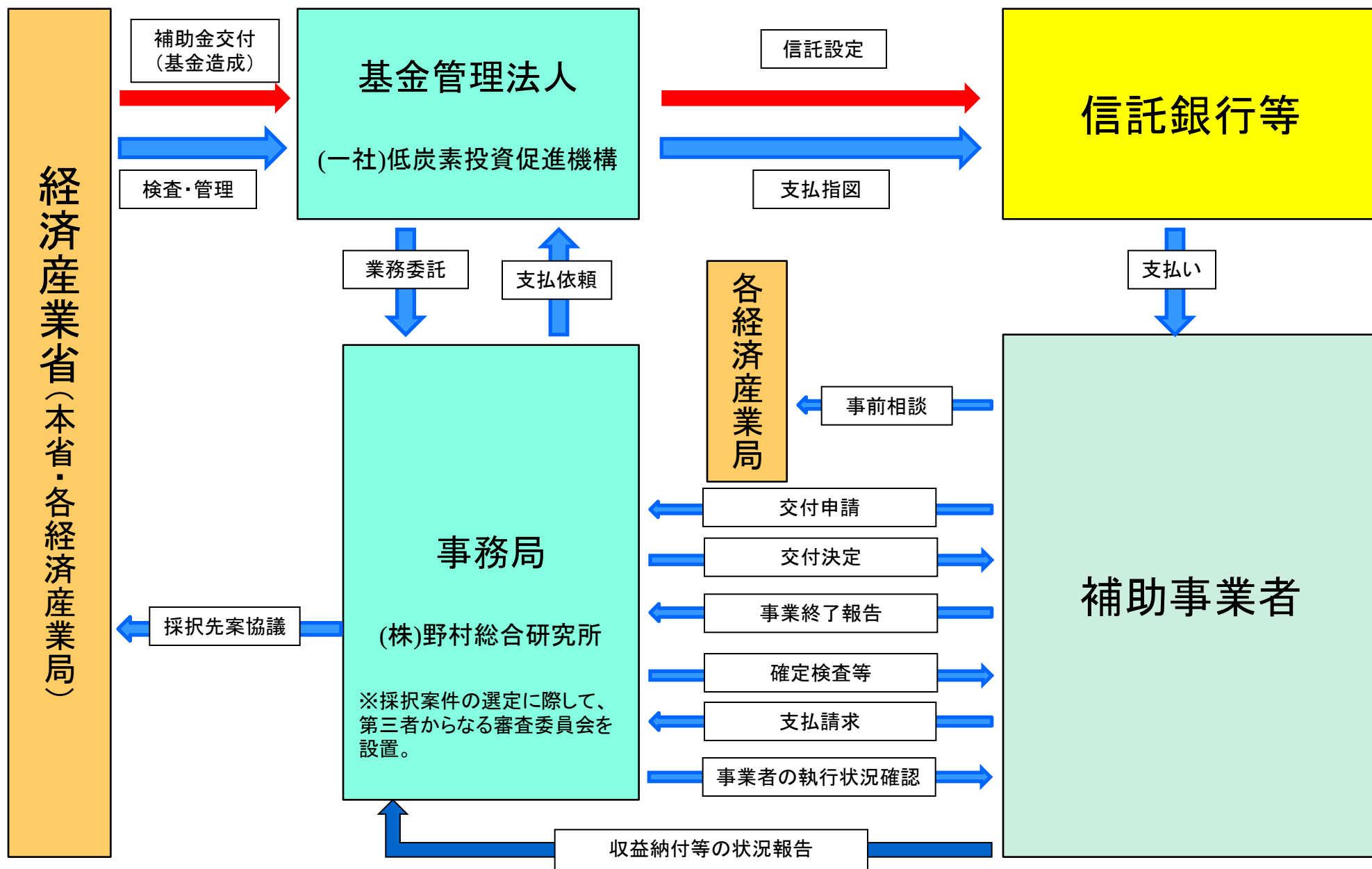
また、次のいずれかに該当する経費については対象外となります。

- 「交付決定日より前に発注、購入、契約等を行ったもの」
- 「申請事業者の人件費」
- 「自社内での調査設計費」
- 「建物付随設備(電気設備、空調設備、火災報知器など)」
- 「既存設備の撤去費用」
- 「工場建屋の建設・増築・改築工事費用(ただし、設備機械装置の据付け等に必要経費は除く)」
- 「予備品」
- 「中古品」
- 「事務所等にかかる家賃」、「保証金」、「敷金」、「仲介手数料」、「光熱水費」
- 「電話代」、「インターネット利用料金等の通信費」
- 「商品券等の金券」
- 「文房具などの事務用品等の消耗品代」
- 「雑誌購読料」、「新聞代」
- 「団体等の会費」、「飲食、奢侈、娯楽、接待の費用」
- 「不動産の購入費」、「自動車等車両の購入費・修理費・車検費用」
- 「税務申告」
- 「決算書作成等のために税理士、公認会計士等に支払う費用及び訴訟等のための弁護士費用」、「振り込み手数料」、「公租公課(消費税を含む。)」
- 「各種保険料」
- 「借入金などの支払い利息及び遅延損害金」
- 「ソフトウェア(ただし、生産に必要不可欠なソフトウェアであって、補助対象事業で設置する機械装置専用のソフトウェアであれば、補助対象経費となり得る)」
- 「検査・測定等の機器(ただし、生産に必要不可欠な検査・測定等のために定期的に継続使用される機器については補助対象経費となり得る)」
- 「共同申請者間の、生産設備等の貸借によるリース料や加工を依頼した際の外注費等」
- 「汎用性があり目的外使用になり得るもの(パソコン、プリンタなど)の購入費」
- 「そのほか、公的な資金の用途として社会通念上、不適切と認められる経費」

(参考) 先端生産設備の考え方について



<u>平成25年</u> <u>2月28日</u>	<u>事業概要説明会</u>
<u>3月15日</u>	<u>公募開始</u>
<u>3月下旬</u> <u>～4月上旬</u>	<u>事業説明会(経済産業局、地方公共団体等)</u>
<u>4月4日 正午</u>	<u>早期受付案件締切</u>
<u>4月中旬</u>	<u>第三者委員会による審査</u>
<u>4月下旬</u>	<u>早期案受付件採択先決定</u>
<u>4月25日正午</u>	<u>提案締切</u>
<u>5月中旬</u>	<u>第三者委員会による審査</u>
<u>5月下旬</u>	<u>採択先決定</u>



【公募申請書提出先及び問い合わせ先】

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-6-5 丸の内北口ビル

<事務局> (株)野村総合研究所 経営革新コンサルティング部

(先端設備投資促進事業費補助金事務局) TEL:03-5533-2223 E-mail:en-ene-jimu@nri.co.jp

【公募に関するご相談先】

経済産業局等 (担当課室)	TEL & FAX & URL	管轄する 都道府県
経済産業省 経済産業政策局 地域経済産業グループ 企業立地支援室	TEL:03-3580-0873 FAX:03-3501-6270 http://www.meti.go.jp	* 公募に関するご相談は、事業を実施する都道府県を管轄する経済産業局か、本省の担当局にご連絡ください。
北海道経済産業局 産業部 産業立地課	TEL:011-736-9625 FAX:011-709-1798 http://www.hkd.meti.go.jp	北海道
東北経済産業局 地域経済部 産業支援課	TEL:022-221-4882 FAX:022-223-2658 http://www.tohoku.meti.go.jp	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
関東経済産業局 地域経済部 企業立地支援課	TEL:048-600-0272 FAX:048-601-1287 http://www.kanto.meti.go.jp	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡
中部経済産業局 地域経済部 地域振興課	TEL:052-951-2716 FAX:052-961-7698 http://www.chubu.meti.go.jp	岐阜、愛知、三重
中部経済産業局 電力・ガス事業北陸支局 地域経済課	TEL:076-432-5518 FAX:076-432-5526 http://www.chubu.meti.go.jp/hokuriku/index.htm	富山、石川
近畿経済産業局 地域経済部 地域経済課	TEL:06-6966-6011 FAX:06-6966-6077 http://www.kansai.meti.go.jp	福井、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国経済産業局 産業部 産業振興課	TEL:082-224-5638 FAX:082-224-5642 http://www.chugoku.meti.go.jp	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国経済産業局 産業部 産業振興課	TEL:087-811-8523 FAX:087-811-8556 http://www.shikoku.meti.go.jp	徳島、香川、愛媛、高知
九州経済産業局 産業部 産業立地課	TEL:092-482-5435 FAX:092-482-5947 http://www.kyushu.meti.go.jp	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
沖縄総合事務局 経済産業部 企画振興課	TEL:098-866-1727 FAX:098-860-1375 http://ogb.go.jp/keisan/index.html	沖縄

【公募情報】 http://www.meti.go.jp/policy/local_economy/setsubitoshi/index.html